

青葉山に、音が咲く。

第16回青葉山コンサート

日時：2023年11月24日（金）

昼の部 11:40 開場 12:10 開演

夜の部 17:00 開場 17:30 開演

場所：青葉記念会館1Fロビー

主催：青葉山コンサート実行委員会

後援：東北大学 工学研究科・工学部

第 16 回 青葉山コンサート

人はなぜ音を愛し、音楽を楽しもうとするのでしょうか。エピソード記憶が刺激されるから、美的興奮があるからなど、さまざまに議論されているようです。いずれにせよ、0 歳代の赤ちゃんが不協和音よりも協和音を好むことや、あらゆる文化に音楽が存在することなどから、“ヒト”にとって音楽は本質的に重要な何かであることは間違いありません。同時に、“人”にとって、音楽の空間を共有することでその楽しさや幸福感が何倍にも増幅する作用もあると思われれます。第 16 回青葉山コンサートは初めての昼夜開催になりました。演奏ジャンル、楽器、演奏者も実に多様です。皆様と楽しく、幸せな空間を共有できることをとても楽しみにしています。

実行委員 長谷川真里

開会のあいさつ 工学研究科長 伊藤彰則

プログラム

昼の部 12:10 - 13:00

●L. ベートーヴェン／ピアノソナタ第 27 番作品 90 小短調 第 1 楽章

長谷川真里(ピアノ 教育学研究科 教授)

この曲が作られた 1814 年ごろのベートーヴェンは、聴覚の衰え、結婚の断念などもあり、長いスランプの時期にあったといわれます。直接的に悲しみを表現した第 1 楽章は、決然とした和音と穏やかなメロディが対比的に使われています。さて、ベートーヴェンはそれでも不屈の精神を燃やし続けていたのでしょうか、それとも全てを諦めてしまったのでしょうか？その答えは聴く人、あるいは演奏者にあるのかもしれませんが。

●G. マークス&S. シモン／オール・オブ・ミー

●D. ラインハルト／マイナーズウィング

hot club de gytan

(竹内章人(ヴァイオリン 理学研究科 博士課程前期 1 年),

佐藤魁(マカフェリギター 情報科学研究科 博士課程前期 1 年))

「Minor Swing」と「All of Me」という素晴らしいジブシージャズの曲を演奏することをとても楽しみにしています。特に「Minor Swing」は情熱的なリズムと繊細なギターフレーズが魅力で、その美しさに魅了され、この曲を選びました。「All of Me」も美しい旋律が心に残り、自分ならではの感性で表現したいと思います。これらの曲を通じて、自己表現する楽しさを深めていこうと思います。

●L. グレンダール／トロンボーン協奏曲

ダブルリード☆デュオ

(濱名我久(ピアノ 工学研究科 博士課程前期 2 年),

栗原慧志(トロンボーン 理学研究科 博士課程前期 1 年))

昨日が本番でした。

●S. ラフマニノフ／チェロとピアノのための 2 つの小品 作品 2

DUO 動物園(村田智(チェロ 工学研究科 教授), 今野喜久代(ピアノ ゲスト))

1. 前奏曲 2. 東洋風の踊り

ラフマニノフ 19 歳の作品。すでにして濃密なロマンスイズムただようのは天才の天才たるゆえんか。弾いているとゆったりするが、聴いてゆったりするかどうかはまた別の問題である。

夜の部 17:30 - 20:00

●D. ポッパー／いつかの美しい日のように

川口歩夢(マンドロンチェロ 工学研究科 博士課程前期 1年),

倉橋晴香(ピアノ 工学研究科 博士課程前期 1年)

技巧的な曲が多いポッパーの作品の中でも哀愁を帯びた美しい作品です。本来はヴィオロンチェロの為に書かれた作品ですが、今回はマンドロンチェロというちょっと珍しい楽器とピアノの 2 重奏でお送りします。美しいトレモロとピアノの音色をお楽しみください。

●C. A. ドビュッシー／喜びの島

南和馬(ピアノ 理学部 4年)

のためカンタービレ、蜜蜂と遠雷、PPPPPP など、さまざまなピアノを扱う作品に登場する有名曲です。

●V. アザラシヴィリ(編曲 上田真樹)／無言歌 チェロとピアノのための

DUO チェリステン(村田智(チェロ 工学研究科 教授), 阿部玲子(ピアノ ゲスト))

アザラシヴィリ(1936-)はジョージア(グルジア)の作曲家。YouTube の演奏動画を見て、即、楽譜をポチってしまった。単純な旋律が繰り返されるなか、しだいに温かいものが溢れてくる。

●G. F. ハンデル／オンブラ・マイ・フ(ラルゴ)オペラ《セルセ》より

●A. W. ケテルビー／ペルシャの市場にて

田原靖彦(マンドリン 工学研究科 OB), 阿部玲子(ピアノ ゲスト)

誰もが知るクラシックの小品 2 曲をマンドリンとピアノで演奏します。「オンブラ・マイ・フ」は歌劇「セルセ」第 1 幕のアリアで、マンドリンのトレモロで、この曲のもつ伸びやかで優雅な曲想の表現にチャレンジします。「ペルシャの市場にて」は情景描写に優れた管弦楽曲で、1930 年代にアメリカで活躍したシロフォン奏者平岡養一氏の得意レパートリーでもありました。今回は平岡氏のスタイル(特にトレモロ)の再現を目指して演奏してみます。

●N. カプースチン／8 つの演奏会用練習曲 第 6 曲:パストラール

林秀星(ピアノ 情報科学研究科 博士課程前期 1年)

ユニークで心躍り跳ねるような曲調を表現したいです。8 つの演奏会用練習曲の中で 1 番ではないものの人気のある方の曲であるようです。今回演奏するのはこの 1 曲だけですが、6 番目のこの曲の 8 つの曲のなかでのアクセントの効き方が格別なので是非 8 曲通して聴いて(聴き返して)みてください。

●F. ショパン／舟歌

佐藤武揚(ピアノ 医学部附属病院 高度救命救急センター)

完成するのに 10 年以上かかりました。

●L. ベートーヴェン／Für Elise in A Minor

●- / ドラえもん の歌

インドネシア留学生協会

(Maulinda Kusumawardani(アンクルン 理学研究科 博士課程後期 2年),

Hanif Saifurrahman(アンクルン 工学研究科 博士課程後期 1年),

Steffi Naomi(ピアノ 薬学研究科 博士課程前期 1年),

Syahriza Ilmi Situmorang(アンクルン 工学部 3年))

アンクルンはインドネシアの伝統楽器で、竹の骨組みに様々な数の竹筒を取り付けたもの。筒は叩くと共鳴するように彫られており、西洋のハンドベルと同じようにオクターブに調律されている。インドネシア学生協会では、青葉山コンサートのテーマであるインドネシアの伝統音楽とクラシック音楽のコラボレーションとして、ピアノ演奏によるアンクルンをお届けします。

休憩

●F. クーツ／サンタが街にやってくる & J. マークス／赤鼻のトナカイ

●松任谷由実／恋人がサンタクロース

●筒美京平／また逢う日まで

コモンズ(湯目昌史(ギター 附属図書館 職員), 今井崇雄(キーボード 理学研究科事務部 職員))

1. おなじみのクリスマス・ソングを8ビートのメドレーにしてみました。2. 1980年発売のJ-POPクリスマス・ソングの定番曲。映画「私をスキーに連れてって」(1987年公開)の挿入歌にもなりました。男性ボーカル用にキーを変更しています。3. 1971年発売の尾崎紀世彦の大ヒット曲(オリコン9週連続1位/売上100万枚)ロック風にアレンジしてみました。

「コモンズ」は、2018年農学研究科事務部の親睦会で演奏するため結成されたギターとキーボードのユニットです。名前はもちろん新青葉山キャンパスの青葉山コモンズに由来しています。拙い演奏ですが楽しくやりたいと思います！

●久石譲／Asian Dream Song

佐藤洋輔(ピアノ 加齢医学研究所 職員)

1998年長野パラリンピックのテーマ曲『旅立ちの時～Asian Dream Song～』として制作された本曲。後に合唱曲として編曲され知られているほか、フィギュアスケート:羽生結弦選手のプログラム『Hope & Legacy』にも使用されました。まさに「旅立ち」に向けた気持ちを奮い立たせるような、力強く美しいメロディが印象的な曲です。

●YOASOBI(編曲 滝川永)／アイドル

●しぐれうい(9さい)(編曲 たきがわはるか(19さい))／肅聖!! ロリ神レクイエム☆

滝川永(ピアノ 理学部 1年)

文化祭で弾いた曲です。文化祭のパンフレットに載せたコメントは以下の通りです。アイドル:完璧で究極の編曲に、最強で無敵の演奏を合わせられるように頑張ります。肅聖!! ロリ神レクイエム☆:ういビイイイイイイイム!!!!!!

●F. ショパン／エチュード op10-5 変ト長調「黒鍵」

●F. リスト／バガニーニによる大練習曲第3番「ラ・カンパネラ」S.141

李智璋(ピアノ 工学部 1年)

1曲目の「黒鍵」はその名の通り、この曲は黒鍵上での右手の三連符の奏法が課題となっています。大変知名度が高いこの曲ですが、ショパン自身はこの曲を「黒鍵のために書かれたことを知らない者にとっては、およそつまらないもの」と評しています。

2曲目の「ラ・カンパネラ」はバガニーニによるヴァイオリン協奏曲第2番の主題を編曲したものです。この曲の中には連続した跳躍、小指と薬指のトリル、オクターブの連打など様々な技術が見られます。

●H. アーレン(編曲 J. L. Merkur)／虹の彼方に

中田俊彦(ピアノ 工学研究科 教授), 阿部玲子(ピアノ ゲスト)

1939年のミュージカル映画「オズの魔法使い」でジュディ・ガーランドが歌った主題歌。歌詞「虹の向こうの空は青く、信じた夢はすべて現実のものとなる」を思い浮かべてお聴きください。

●坂本龍一／戦場のメリークリスマス

小原正行(ピアノ 産学連携機構 産学共創推進部)

坂本作品の中でも特に人気が高い曲。坂本自身は「なぜこの曲だけが特に好まれるのか分からない」とも語っているが、シンプルで覚えやすいメロディが原因かと分析。また彼自身は、作曲中に何度も「ぼろぼろ」泣いたという逸話も。映画自体のある種の非現実感からの影響で、西洋でも東洋でも“どこでもないどこか”、“いつでもない時間”をコンセプトに作られたとも言われている。3月に逝去した日本の偉大なる芸術家への最大の敬意・哀悼をこめて。

●&TEAM/Firework

菊地舞衣(ピアノ 教育学部 4年)

BTS などの所属事務所である HYBE から、2022 年にデビューした多国籍ボーイズグループ「&TEAM」の曲です。家族が彼らにハマった記念に弾かせていただくのですが、私も前から韓国系アイドルが好きなので嬉しいです！

●N. ホワイト/O Magnum Mysterium

●中島みゆき(編曲 信長貴富)／混声合唱とピアノのための「中島みゆき」より「時代」

こんもーと(学友会混声合唱部)

(田中美優(ソプラノ 理学部 2年), 棟方維央(ソプラノ 教育学部3年),

渡邊蘭(アルト 文学部1年), 丹野清凜(アルト 工学部3年),

渡辺俊貴(テノール 工学部3年), 西谷舜(テノール 工学部3年), 幅崎悠太(テノール 法学部3年),

西園寺奏太(ベース 理学部1年), 寄田祐真(ベース 経済学部3年), 李智璋(ピアノ 工学部1年))

東北大学学友会混声合唱部は、12月24日、日立システムズホール仙台コンサートホールにて行われる第64回定期演奏会に向け、日々練習に励んでおります。今回は混声合唱部の有志メンバーにより、Nicholas White 作曲の「O Magnum Mysterium」と中島みゆきの「時代」を演奏いたします。「O Magnum Mysterium」はクリスマス・ミサをイメージした宗教曲で、キリストの生誕が歌われています。1975年に発表された「時代」は、人々に元気を与える曲として今でも色あせず愛されています。

青葉山コンサート実行委員会

教職員

村田智, 中田俊彦, 茂田正哉, 高奈秀匡

中村肇, 杉本真, 鴫田駿, 中山貴史

長谷川真里

同窓生

桑野博喜, 川又政征, 田原靖彦

お問い合わせ: aobayama-contact@googlegroups.com

青葉山コンサートホームページ

<https://web.tohoku.ac.jp/eng/mirai/aobayama/>

青葉記念会館のグランドピアノは、震災後5年を経た2016年3月、

心の復興のために機械系同窓会が寄贈したものです。

(使用可能時間: 平日 9:30-19:30)

協力: 工学部事務部 教務課学生支援係, 施設管理室

プログラム・ポスターデザイン

小林雅幸

ロゴデザイン

笹川瑛貴